

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

小牧線沿線地区

平成29年3月

愛知県小牧市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	安全・安心満足度	%	54.3	65.7	66.6	確定		○	あり	61.1	H28年4月	△	地域交流センター等の整備が充実していると感じていない人がみられるものと思われる。	☐ 改善策はそのまま ☒ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	児童館や地域交流センター等の整備により、住民同士のコミュニティの場が充実するとともに、市内の犯罪発生件数が年々減少しており、市民が安心して子育てできる環境が整備されたことから、安全・安心に暮らせるまちと感じる市民が増加し、一定の効果が表れているものの、フォローアップ時には実績値が目標値に達しなかったため、さらなる地域コミュニティの醸成を図る必要があると考える。
指標2	居住者数	人	56,923	58,200	58,318	確定		○	あり	58,619	H27年10月	○	—	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	区画整理事業を始めとした基盤整備の進捗により、良好な住環境が形成され定住促進が図られている効果が表れているものとする。
指標3	中心市街地の魅力度	%	20.4	23.9	21.2	確定		△	あり	20.4	H28年4月	×	中心市街地のにぎわいの核となる市立図書館等の整備が延期となったことが要因の一つと考える。	☐ 改善策はそのまま ☒ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	中心市街地へアクセスする道路整備等により、交通利便性や安全性は向上したが、ソフト事業等によるイベント等の開催や中心市街地の魅力としての効果が目に見えにくく、数値目標達成に至らなかったと考える。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	小牧駅の1日当たりの乗降客数	人	9,258		10,077	確定			10,318	H28年4月		—	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	小牧線沿線の駅周辺アクセス道路の整備等により、小牧駅を中心とした各施設に行きやすくなったことや巡回バスの再編等により、鉄道との乗換の利便性が向上し、通勤・通学等の利用者の増加に伴い駅利用者も増加したものと考える。
その他の数値指標2						確定				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全・安心度の高いまちづくりによる人口定着の促進	<H26～H28実施事業> ・土地区画整理事業(小牧文津地区、小牧岩崎山前地区) ・公園事業(岩崎山公園) ・道路事業・(田県神社前駅駅前広場)	更なる基盤整備の進捗を図ることができ、評価値 (見込み値)を超える人口増加を実現した。	引き続き事業の進捗に取り組み、安全・安心で活気に満ちたまち づくりを進めていく。 ■土地区画整理事業(小牧文津地区、小牧岩崎山前地区)の継 続 ■公園事業(岩崎山公園)の継続 ■公園事業(町屋公園)の実施
	中心市街地の交通利便性と安全性の向上	<H26～H28実施事業> ・道路事業(市道小牧市之久田線)	道路事業の進捗により、中心市街地の交通利便性 と安全性の向上が図られた。	引き続き事業の進捗に取り組み、交通利便性と安全性の向上を 図る。 ■道路事業(市道小牧市之久田線)の継続
	地域交流施設と公園の維持・管理による地区内の自然 資源の活用	・住民団体によるまちづくり活動の継続的实施	まちづくり活動の継続により、公園施設等の維持・ 管理が行われた。	引き続きまちづくり活動の推進を図るとともに、市民参画が継続さ れるよう、市民協働による公園整備等を進める。 ■まちづくり活動推進事業(町屋公園)の実施 ■アダプトプログラムの普及・推進 ■緑の基本計画に基づく、リーディングプロジェクト
改善策 ・まちづくりの目標を達成するため の改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	中心市街地活性化に向けた中心市街地拠点機能の充 実が必要	<H26～H28実施事業> ・道路事業(市道小牧市之久田線) ・こまき巡回バスの再編	道路事業の実施とこまき巡回バスの再編により、小 牧駅へのアクセス利便性の向上や公共交通の充実 が図られた。	引き続き事業の進捗に取り組み、中心市街地の活性化を進めて いく。 ■道路事業(市道小牧市之久田線)の継続 ■道路事業・高質空間形成施設(小牧駅西駅前広場、市道小牧 駅西線)の整備 ■中心拠点誘導施設(小牧市立図書館、小牧市民病院)の整備
	土地区画整理事業、公園等の未整備箇所について、さ らなる事業の推進が必要	<H26～H28実施事業> ・土地区画整理事業(小牧文津地区、小牧岩崎山前地区) ・公園事業(岩崎山公園、浜井場公園)	計画的な事業の進捗により、人口増加や安全性の 向上が図られた。	引き続き事業の進捗に取り組み、安全・安心で活気に満ちたまち づくりを進めていく。 ■土地区画整理事業(小牧文津地区、小牧岩崎山前地区)の継 続 ■公園事業(岩崎山公園、浜井場公園)の継続 ■公園事業(町屋公園)の実施 ■まちづくり活動推進事業・街区公園整備事業(ワークショップ)
	小牧山の観光資源としての活用促進が必要	<H28実施事業> ・小牧市歴史館の耐震改修	事業の実施により、小牧山の歴史を観光資源として 活用するための基盤整備の進捗が図られた。	観光資源として更なる活用促進を図っていく。 ■史跡センターの整備

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
安心・安全満足度がフォローアップ時に目標値に達しな かったことから、地域交流センターが整備されていない地 区において、地域住民間の地域コミュニティの形成を促す 環境を整備する。	・地域住民の活動拠点となる地域交流センターを久保一色本田区に整備し、この地区の 地域住民間の地域コミュニティの醸成を図る。	H27年度実施	地元住民で構成される建設委員会において話し合った意見を反映し、施設を利用 する地域住民等のニーズにあわせた施設を整備した。今後、さらに地域活動が盛 んになるように地域コミュニティの醸成を期待する。
中心市街地における魅力度が従前時とフォローアップ時 で改善がみられなかったことから、ハードとソフトの両事業 により中心市街地の魅力度の向上や賑わいの創出に繋 げる。	・ハード事業では低未利用地等を活用し、市立図書館等、小牧駅周辺の生活に便利な施 設の整備・誘導を図る。 ・ソフト事業では地元商店街・市民活動団体・企業等との連携・協働によりイベント等を開 催し、継続的な取組を図る。	H30～H31年度を予定	中心市街地の魅力度の向上については、市立図書館等のハコモノ整備に留まら ず、ソフト事業等と併せた中心市街地でのイベント等の開催を継続的に活動して いくことが必要と考える。

都市再生整備計画(清算報告)

こまきせんえんせんちく
小牧線沿線地区

あいちけんこまきし
愛知県小牧市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	こまきし 小牧市	地区名	こまきせんぶんせんち 小牧線沿線地区	面積	955 ha
計画期間	平成22年度～平成26年度	交付期間	平成22年度～平成26年度				

目標
◇安全・安心で活気に満ちたまちづくり 目標1:多様なニーズに対応した良好な環境の形成による人口定着・・・地域の特徴に合わせた都市基盤整備と魅力と個性ある環境整備の一体的実施 目標2:市の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり・・・小牧駅周辺の都市機能の向上を図り、環境にやさしく、魅力的で活気に満ちた駅前を目指す 目標3:都市基盤整備による安全・安心なまちづくり・・・道路(歩道)や公共施設等の整備により安全な市街地の形成を図る

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 本地区は、小牧市(以下、本市という)の北中部に位置し、平成15年3月に上飯田連絡線の開通により名古屋都心部へのアクセスが向上した名鉄小牧線沿線の地区であり、名鉄小牧駅を中心とした中心商業・業務地域とそこから連担する住宅市街地を形成している。また、地区西部には本市のランドマークである小牧山が、また、地区北部には「小牧・長久手の戦い」の古戦場である岩崎山があり、本市の歴史文化を実感できる場や貴重な緑地空間を提供している。 しかし、本地区の状況を見ると、中心市街地の賑わいを形成すべく整備された再開発ビルのメインテナントが撤退する等、中心市街地活性化への取組みが十分に効果を発揮出来ていない状況にある。また、中心市街地の賑わいを支える周辺の市街地は道路が狭く、公園等の公共施設が未整備である中で宅地化が進み、無秩序な市街化が進行し、木造建物が密集するなど防災安全上に問題のある市街地が形成されていた。 そこで、本市はこうした問題を緊急に解消し、名鉄小牧線沿線という交通利便性を活かした人口定着の促進を図るため、鉄道沿線部において、土地区画整理事業による住環境形成がなされてきた。また、近年では土地区画整理事業に合わせて、中心市街地を中心とする「小牧山周辺地区」、本市北部の住宅市街地の「味岡地区」において、まちづくり交付金による各種の施策を実施してきた。そして、事業年度が異なるが、本地区の南側に位置する「小牧南地区」においても、良好な居住空間の形成を目指してまちづくり交付金による施策が実施されている。こうした名鉄小牧線沿線におけるコンパクトなまちづくりの取り組みにより、災害に強くたれもが安心して暮らせる市街地形成や中心市街地の都市活動の活性化が進み、一定の成果を得ることができたが、継続してまちづくりの効果をより高める必要があり、中心市街地での賑わい創出と北部住宅市街地での人口定着を一体的に進めることで連携を深め、より魅力ある、安全・安心で、環境にやさしい、住みやすいまちづくりを実現することが喫緊の課題となっている。 【これまでのまちづくりの取組】 ●平成13年度から味岡地区が、平成14年度から小牧山周辺地区がそれぞれまちづくり総合支援事業を実施しており、上記のまちづくり環境の進展にあわせてまちづくり交付金に移行し、計画期間平成22年～平成26年として継続して事業が実施されている。 ●まちづくり交付金移行後、小牧山周辺地区は小牧堀の内土地区画整理事業や道路整備が、味岡地区では本田公園をはじめとする街区公園の整備等都市再生整備計画で位置づけられた事業の大部分が完了している。一方で、小牧山周辺地区の市道小牧市之久田線(小牧駅前線延伸)や味岡地区の岩崎山公園・土地区画整理事業は継続して事業が実施されている。また、安心して暮らせるまちづくりを実現するため、街頭緊急通報装置の設置等が行われており、安全なまちづくりが継続して行われている。これらの取組みにより、安全、安心で住みやすいまちづくりが実現されつつあり、地区内人口の増加等の整備効果があらわれている。
課題
①都市基盤の整備と交通利便性の向上を図ることによる地区全体の人口の定着 市北部の土地区画整理事業が継続中であり、基盤整備を早期完了させ、また、道路整備や公共交通機関の充実等によりさらなる交通利便性を向上させ、利便性の高い環境にやさしいまちづくりを実現するこにより、名鉄小牧線沿線の人口定着を継続させる必要がある。 ②小牧駅周辺における都市機能の増進を図ることによる中心市街地の活性化 中心市街地である小牧駅周辺は、平成17年度から都市再生整備計画に基づき整備が行われており、子ども絵本図書館や子育て支援施設等の整備を進め一定の成果を得てきたものの、路線バス乗降場とタクシー乗降場が東西に分断されており、交通結節点としての利便性が十分に図られていないなど課題も残っている。また、小牧駅西口と再開発ビル「ラピオ」までの駅前地区については、大半を駐車場として利用している状況であり、駅前に相応しい都市機能の導入により、中心市街地の活性化を図り、賑わいのあるまちづくりを実現する必要がある。 ③小牧山と岩崎山の緑と歴史を活かした地域アメニティの向上と地域コミュニティの醸成 住民が安心して便利に生活を送っていくためには、地域の緑や歴史を活かしつつ、環境に配慮した市街地整備、生活利便性を向上させる施設整備を実施するとともに、地域に愛着をもてるよう、それらの施設を地域住民自らが積極的に活用できる環境を形成する必要がある。
将来ビジョン(中長期)
●第6次小牧市総合計画 本市の目指す将来像を「人と緑かがやく創造のまち」を実現するため、小牧駅周辺は、商業・サービス業、文化、行政の集積を生かし、連続性を持つ魅力あふれる本市の玄関にふさわしいまちづくりを進め、市北部地域は地域特性に応じた居住環境の整備をすすめる。 ●小牧市都市計画マスタープラン 中心市街地は、「小牧の玄関にふさわしい魅力あるまち」を目指し、商業・業務、生活サービス、文化等の多様な都市機能の集積や都市基盤の充実を図る。また、市北部では、「安全で快適な生活利便性の向上」を目指し、土地区画整理事業等の都市基盤整備や公共交通の利用促進に向けた交通利便性の向上を図る。 ●小牧市地域再生計画 中心市街地と市北部を一体的に整備することで、中心市街地での地域活動、商業活動の活性化を図り、歴史と文化を活かしたこまきらしいまちの賑わいを創出するとともに、住環境整備を早急に進めることで、人口の定着や公共交通の利用促進を図り、人とモノが行き交う交流拠点を創出する。 ●小牧市中心市街地活性化基本計画 「生活文化の交差点づくり」をテーマとして掲げ、様々な目的で中心市街地を人々が行き交い、この場所で古さ(歴史性)、新しさ(利便性)が交わるようなライフスタイルを創っていくとし、交通施設整備及び小牧山の眺望と調和する道路景観の形成を図る。 ●小牧駅周辺整備計画 「行って便利で面白く””住んで安心・快適”なまち」をテーマとして掲げ、多様な世代が様々なライフスタイルの生活を楽しめるような、“街なか生活中心地”としてのまちづくりを進める。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
安全・安心満足度	%	「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」と思う市民の割合	都市基盤整備による安全・安心なまちづくりの達成状況を「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」と思う市民の割合の増加で評価する。	54.3	平成21年度	65.7	平成26年度
居住者数	人	地区内人口	地域の特性に合わせた都市基盤整備と環境整備の達成度を地区内人口の増加数で評価する。	56,923	平成20年度	58,200	平成26年度
中心市街地の魅力度	%	中心市街地(小牧駅周辺)に魅力を感じる市民の割合	小牧駅(中心市街地)周辺整備の効果を中心市街地に魅力を感じる人の割合の増加で評価する。	20.4	平成21年度	23.9	平成26年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
・良好な住環境形成のための基盤整備と交通利便性の向上 ○道路整備・土地区画整理事業等による基盤整備と地域特性に応じた住宅の一体的整備を実施し、いつまでも安心して暮らせる市街地を形成する。 ○コミュニティバスの利用促進実証実験により、交通利便性が高く、環境への負荷が少ない市街地を形成する。 ○中心市街地周辺における公共施設の整備に合わせて、環境に配慮した仕組みを取り入れ、環境にやさしい市街地を形成する。 ○地域の特性を活かした公園整備の実施	方針に合致する主要な事業 ■基幹事業 ・道路:市道宮前4号線(第1工区) ・道路:市道小牧市之久田線(第2工区) ・道路:市道小牧市之久田線(第3工区) ・道路:市道布袋内津線 ・道路:市道樋下1号線 ・公園:岩崎山公園 ・下水道:一色污水枝線外 ・高質空間形成施設(緑化施設等):市道宮前4号線(第1工区)景観整備 ・高質空間形成施設(緑化施設等):緑化施設整備 ・土地区画整理事業:小牧文津地区 ・土地区画整理事業:小牧岩崎山前地区 □提案事業 ・まちづくり活動推進事業:こまき巡回バス運行事業利用促進実証実験 ○関連事業 ・道路:都市計画道路名古屋犬山線 ・道路:上新町地区道路整備事業 ・道路:市道小牧市之久田線(第2工区) ・道路:市道布袋内津線 ・道路:市道間々池3号線 ・土地区画整理事業:小牧文津地区 ・土地区画整理事業:小牧岩崎山前地区 ・高質空間形成施設(緑化施設等):市道小牧市之久田線(第2工区)景観整備 ・高質空間形成施設(緑化施設等):市道小牧市之久田線(第3工区)景観整備 ・市役所新庁舎建設事業
・中心市街地における拠点機能・交通結節機能の向上による小牧駅周辺の賑わいの形成 ○小牧駅周辺の道路整備により、駅利用者・中心市街地来訪者の利便性向上と環境にやさしい小牧市の玄関口の形成を図る。 ○幹線道路沿道の電線類を地中化し、良好な市街地景観を形成する。	■基幹事業 ・道路:市道宮前4号線(第1工区) ・道路:市道小牧市之久田線(第2工区) ・道路:市道小牧市之久田線(第3工区) ・高質空間形成施設(電線類地下埋設施設):市道宮前4号線(第1工区)電線類地中化 ・高質空間形成施設(緑化施設等):市道宮前4号線(第1工区)景観整備 ○関連事業 ・道路:市道小牧市之久田線(第2工区) ・高質空間形成施設(電線類地下埋設施設):市道小牧市之久田線(第2工区)電線類地中化 ・高質空間形成施設(緑化施設等):市道小牧市之久田線(第2工区)景観整備 ・高質空間形成施設(緑化施設等):市道小牧市之久田線(第3工区)景観整備
・地域資源の活用と公益施設整備による住みやすいまちづくり ○子育て支援施設等の整備により生活環境を向上し、子育てしやすい居住環境を形成する。 ○地域資源を活かした施設整備による地域コミュニティの醸成する。 ○岩崎山の歴史性をいかした環境整備する。	■基幹事業 ・公園:岩崎山公園 ・高次都市施設事業(地域交流センター):地域交流活動施設整備 ・高次都市施設事業(地域交流センター):会館施設整備事業(久保会館) ・高次都市施設事業(地域交流センター):会館施設整備事業(上新町会館) ・高次都市施設事業(地域交流センター):会館施設整備事業(小牧原西会館) □提案事業 ・地域創造支援事業(入鹿用水路敷おしゃべり小径整備事業):入鹿用水路敷 ・地域創造支援事業(児童館施設整備事業):味噌児童館 ・地域創造支援事業(保育園耐震改修事業):第三保育園外1園
その他 ○地域資源を活かした魅力の向上について 本地区は、地域の特性・地域資源を活かした賑わいと魅力あふれるまちづくりを展開する目標としているが、中心市街地西側にある小牧山や市北部の岩崎山は、小牧の市街地形成の礎であり、「小牧・長久手の戦い」における歴史的資源である。また、市民の憩いの場としての貴重な緑地空間を提供してくれる場所である。これらの地域資源を活かした住む人・訪れる人にとって魅力的な地域を形成するためには、地域住民による継続的なまちづくり活動が不可欠である。 これまで、小牧山美化活動や「やすらぎまち協議会」による道路沿道の景観整備、「岩崎山公園懇話会」による岩崎山の歴史の語り部の活動、「一色小学校地域ふれあい活動」による岩崎山のフィールドワーク、公園整備のワークショップ等の地域活動が実施されている。本事業の実施にあわせて、市民や地域住民がより積極的に地域固有の自然・歴史的資源を再認識する活動を充実することにより、地域に対する愛着と誇りをもてるまちづくりが実現でき、人口定着や中心市街地の賑わい形成、環境にやさしいまちづくりに寄与する。 一方、本市では、生垣、屋上・壁面緑化に関する補助を実施しており、地域のまちづくり活動の充実に合わせて、住民活動を支援する方策として同補助制度を積極的に活用していく。 ○住民参加について 公園整備等について、計画段階からワークショップ手法による住民参加を行い、施設内容だけでなく、施設の維持・管理についても住民自らが実施する方策と体制づくりを住民主体で実施する。 ○交付期間中の計画の監理について 交付期間中は、都市政策課が中心となり、定期的に事業進捗状況や、事業進捗上の問題点について関係各課と連携して確認することにより、事業遅延等のリスクを削減させる。	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,817.9	交付限度額	1,527.1	国費率	0.4
---------	---------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体	交付期間内		うち		交付対象
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費		
道路		市道宮前4号線(第1工区)	小牧市	直	W=16-18L=250m	H14	H23	H23	H23	1,500	32	32	0	32	
		市道小牧市之久田線(第2工区)	小牧市	直	W=16-18L=290m	H14	H27	H22	H24	900	77	77	0	77	
		市道小牧市之久田線(第3工区)	小牧市	直	W=10.5-17L=295m	H14	H29	H24	H26	900	162	162	0	162	
		市道布袋内津線	小牧市	直	W=12.5-14L=100m	H24	H26	H24	H25	206	206	206	0	206	
		市道樋下1号線	小牧市	直	W=8-11.5L=265m	H24	H26	H24	H26	42	42	42	0	42	
公園		岩崎山公園	小牧市	直		H14	H27	H25	H25	582	28	28	0	28	
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道		一色汚水枝線外	小牧市	直	100ha	H22	H26	H22	H26	40	40	40	0	40	
駐車場有効利用システム		—			—										
地域生活基盤施設		—			—										
高質空間形成施設	電線類地下埋設施設 緑化施設等	市道宮前4号線(第1工区)電線類地下化	小牧市	直	L=250m	H22	H23	H22	H23	50	50	50	0	50	
		市道宮前4号線(第1工区)景観整備	小牧市	直	L=250m	H22	H23	H23	H23	69	69	69	0	69	
		緑化施設整備	小牧市	直	1箇所	H22	H24	H23	H24	67.5	67.5	67.5	0	67.5	
高次都市施設	地域交流センター	地域交流活動施設整備	小牧市	直	755.5㎡	H22	H24	H22	H24	115.4	115.4	115.4	0	115.4	
		会館施設整備事業(久保会館)	小牧市	直	323㎡	H22	H23	H22	H23	77.1	77.1	77.1	0	77.1	
		会館施設整備事業(上新町会館)	小牧市	直	270㎡	H22	H23	H22	H23	65.7	65.7	65.7	0	65.7	
		会館施設整備事業(小牧原西会館)	小牧市	直	239㎡	H23	H24	H23	H23	57.8	57.8	57.8	0	57.8	
既存建造物活用事業															
土地地区画整理事業		小牧文津地区	小牧市	直	37.5ha	H10	H33	H22	H26	3,872.3	1,893.8	1,893.8	0	1,893.8	
		小牧岩崎山前地区	小牧市	直	62.2ha	H4	H26	H22	H26	1,693.3	484.8	484.8	0	484.8	
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										10,238.1	3,468.1	3,468.1	0	3,468.1	…

提案事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体	交付期間内				交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業	入鹿用水路敷おしゃべり小径整備事業	入鹿用水路敷	小牧市	直	L=530m	H22	H23	H22	H23	39	39	39	0	39	
	児童館施設整備事業	味岡児童館	小牧市	直	2,649㎡	H23	H24	H24	H24	262	262	262	0	262	
	保育園耐震改修事業	第三保育園他1園	小牧市	直	2園	H24	H24	H24	H24	44	44	44	0	44	
事業活用調 査	事業効果分析調査	小牧線沿線地区	小牧市	直	955ha	H24	H26	H24	H26	1.2	1.2	1.2	0	1.2	
まちづくり活 動推進事業	こまき巡回バス運行事業利用促進実証実験	—	小牧市	直	—	H22	H22	H22	H22	3.6	3.6	3.6	0	3.6	
合計										349.8	349.8	349.8	0	349.8	
														合計(A+B)	3,817.9

[illegible]